

塾の先生(独身)に
分からない問題を聞きに
行った時の出来事

ん
この問題は…

説明してもらうために
貸した僕のペンを
口元が寂しい時の癖なのか
唇に当ててしまう先生





先生の唇に触れて
ペンにべつとりと口紅を
付けられてしまった

むに

あ、
ごめんね♡

ふふっ…♡

口寂しさを紛らわすために
僕の物を奪われたと感じて
悶々としていると…

塾の終業後
次は僕自身が…

は…む…

ぬが…



むち…

ん…

むちゅ…♡

ぬが…

っ…!!

欲求不満な先生の
チューでべつとりと
口紅を付けられた



むっちりとした唇に
全身の感覚を支配され
理性も奪われ：

ぬぼぼ...

デグ!!

デグ!!

デグ...

ぬい

んっ...♡
んふっ...♡

先生の身体の寂しさを
紛らわすためだけの
道具にさせられてしまった